

## 精神神経科学

### A 欧 文

#### A-a

1. Nakano T, Ono S, Yamaguchi J, Sugimoto R, Yamaguchi N, Morimoto Y, Kubo T, Ozawa H, Kurotaki N. Modified electroconvulsive therapy for the treatment of refractory schizophrenia-like psychosis associated with Huntington's disease. *Journal of Neurology* 260(1): 312-314, 2012 (IF:3.473) \*
2. Ono S, Yoshiura K, Kinoshita A, Kikuchi T, Nakane Y, Kato N, Sadamatsu M, Konishi T, Nagamitsu S, Matsuura M, Yasuda A, Komine M, Kanai K, Inoue T, Osamura T, Saito K, Hirose S, Koide H, Tomita H, Ozawa H, Niikawa N, Kurotaki N. Mutations in PRRT2 responsible for paroxysmal kinesigenic dyskinesias also cause benign familial infantile convulsions. *J Hum Genet* 57(5): 338-341, 2012 (IF:2.570) \*
3. Ono S, Yoshiura K, Kinoshita A, Kikuchi T, Nakane Y, Kato N, Sadamatsu M, Konishi T, Nagamitsu S, Matsuura M, Yasuda A, Komine M, Kanai K, Inoue T, Osamura T, Saito K, Hirose S, Koide H, Tomita H, Ozawa H, Niikawa N, Kurotaki N. Mutations in PRRT2 responsible for paroxysmal kinesigenic dyskinesias also cause benign familial infantile convulsions. *J Hum Genet* 57(6): 399, 2012 (IF:2.570) \*
4. Yoneda Y, Saitsu H, Touyama M, Makita Y, Miyamoto A, Hamada K, Kurotaki N, Tomita H, Nishiyama K, Tsurusaki Y, Doi H, Miyake N, Ogata K, Naritomi K, Matsumoto N, Missense mutations in the DNA-binding/dimerization domain of NFIX cause Sotos-like features, *J Hum Genet*, 57(3): 207-211, 2012 (IF:2.570) \*

#### A-b

1. H.kinoshita,Y.Nakane,H.Nakane,H Ichinose,Y.Ohta,S Honda,H Ozawa.: Nagasaki. Schizophrenia study-Relationship between DUP and some factors.Early Intervention in Psychiatry .Vol6 Supplement 1 p61, 2012
2. H.kinoshita,H,Nakane, A. Ohtsuru, G H Bahn, Y Shibata, H.Ozawa,S. Yamashita.:Mental health status of Atomic-bomb survivors-A survey in Korea 2008. Asia-Pacific Psychiatry.V4.Supplement1 p156, 2012

### B 邦 文

#### B-a

1. 今村 明, 小野慎治, 辻田高弘, 橋田あおい, 黒滝直弘, 小澤寛樹, 岡崎祐士:一卵性双生児精神疾患不一致におけるコピー数解析 日本生物学的精神医学会誌 23 (2) : 23-28, 2012
2. 木下裕久, 太田保之, 中根秀之, 一ノ瀬仁志, 黒滝直弘, 小澤寛樹, 【災害と精神医学】雲仙・普賢岳噴火災害被災住民の長期経過後の精神的問題 被災後 13 年後調査より, 臨床精神医学 41(9): 1293-1298, 2012.
3. 中根秀之, 畑田けい子, 木下裕久:統合失調症治療におけるクエチアピンフマル酸製剤の至適投与量について-新薬と臨床 61(1): 21-29, 2012
4. 野中俊輔, 一ノ瀬仁志, 木下裕久, 中根秀之:一般住民、医療従事者への精神障害に対する啓発活動およびアンチスティグマ研究 臨床精神医学 41(10): 1439-1446, 2012

#### B-b

1. 大和田みな未, 中根秀之, 木下裕久, 一ノ瀬仁志, 岩永竜一郎, 田中悟郎, 大園恵幸:プライマリケア患者における精神医学的諸問題について. 九州神経精神医学.58(1): 41-42, 2012
2. 藤原愛子, 田山達之, 久保達哉, 杉本 流, 木下裕久, 黒滝直弘, 今村 明, 小澤寛樹. 診断と治療に難渋したレビー小体型認知症の 1 症例. 九州神経精神医学 58(1): 38, 2012
3. 小澤寛樹: 蝕ばまれゆく在留邦人の心～日中間の経済関係に佇む光と影 第108回日本精神神経学会学術総会. P245, 2012
4. 楠本優子, オザワヒロキ: 中国におけるEAP活動 第108回日本精神神経学会学術総会 p246, 2012
5. 今村 明: 被虐待児と発達障害児のエピジェネティック変化の関与の可能性 第108回日本精神神経学会学術総会. P516,2012
6. 足立利幸, 小野慎治, 中野 健, 菊池妙子, 富田博秋, 加藤進昌, 黒滝直弘, 小澤寛樹:発作性運動誘発性ジスキネジア日本人家系による遺伝学的解析 第 108 回 日本精神神経学会学術総会. P268, 2012
7. 小澤寛樹, 平谷眞一, 楠本優子, 南 達元:内観療法の可能性 - 上海クリニックからの考察 - 第 15 回日本内観医学会大会 p30, 2012
8. 田中大三, 久保達也, 蓬萊彰士, 安藤幸弘, 小澤寛樹, 黒滝直弘: mECT 時にサクシニルコリン投与により CPVT を来たした一例 第 65 回九州精神神経学会p68, 2012

9. 吉田真太郎, 小野慎治, 杉本 流, 黒滝直弘, 今村 明, 小澤寛樹: 統合失調症一卵性双生児不一致例における次世代シーケンサーを用いたゲノム差異の検証 第65回九州精神神経学会 p51, 2012
10. 久保達也, 森本芳郎, 山口尚宏, 杉本 流, 小野慎治, 黒滝直弘, 小澤寛樹: mECTにより症状の改善を認めたレビー小体型認知症の2例 第65回九州精神神経学会 p58, 2012
11. 楠本優子, 南 達元, 徳永雄一郎, 小澤寛樹: 在中駐在員のメンタルヘルス 第65回九州精神神経学会 p63, 2012
12. 船本優子, 楠本優子, 福田和久, 岩倉由佳, 生塩詞子, 久保達也, 今村 明, 小澤寛樹: 長崎大学病院精神神経科外来における児童・思春期の『2枚法』バウム・テストについて -バウム・テストの特徴と転帰についての一考察- 第65回九州精神神経学会 p70, 2012
13. 山口順嗣, 小野慎治, 山口尚宏, 中野 健, 森本芳郎, 橋口知幸, 鬼塚美美, 久保達也, 黒滝直弘, 小澤寛樹: ハンチントン病の精神病症状にmECTが奏功した一例 第65回九州精神神経学会 p71, 2012
14. 茅野龍馬, 金替伸治, 黒滝直弘, 三角純子, 針間博彦, 小澤寛樹: 震災を契機に亜昏迷状態を呈した初診患者で、診断が困難であった一例 第65回九州精神神経学会 p79, 2012
15. 福田和久, 峯 有市, 小澤寛樹, 金沢文高, 松尾 尚: 自立療法の導入が奏功した難治性パニック障害の一例 第65回九州精神神経学会 p80, 2012
16. 久保達也, 酒井武仁, 黒滝直弘, 小澤寛樹: 悪性症候群, QT延長症候群を呈した統合失調症へのロクロニウムによるmECTの経験 日本総合病院精神医学会 (24): 143, 2012

### B-c

1. 小澤寛樹: 上海メンタルクライシス 海外日本人ビジネスマンの苦悩 (監修 小澤寛樹) 長崎新聞新書 025, 2012
2. 小澤寛樹: シネマサイキアトリー 映画からみる精神医学 (代表監訳 小澤寛樹) 中外医学社, 2012
3. 小澤寛樹: 巻頭言 海外生活とメンタルヘルス - 在留邦人を取り巻く諸相- 最新精神医学(17) 5: p407, 2012
4. 黒滝直弘: 老いること、ボケること らいふ. 第49号, 2-3, 2012
5. 黒滝直弘, 中根秀之: ソトス症候群の分子遺伝解析とサポートシステムの開発における課題, 精神科 20(2) : 185-191, 2012
6. 楠本優子, 小澤寛樹: 中国におけるEAP活動(シンポジウム14日本・中国、グローバリゼーションの陰にある邦人の精神健康), 日本精神神経学会雑誌特別号, p41, 2012
7. 楠本優子, 南 達元, 小澤寛樹: バウムテストからみる在中日系企業における精神衛生, 産業精神保健, vol.20, 増刊号, 2012

### 論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2012	4	2	0	0	6	4	4	16	7	0	27	33

### 学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2012	0	1	3	4	3	3	16	22	26

### 論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI掲載論文)
2012	0.182	0.857	0.667	0.571

### Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2012	11.183	1.598	2.796